

令和3年度当初予算（案）説明資料

I	令和3年度当初予算（案）の概要	1
II	令和3年度当初予算（案）総括表	2
III	令和3年度主要事業説明資料	
①	広島病院	3
②	安芸津病院	4

病院事業局

I 令和3年度当初予算（案）の概要

当初予算のポイント

1 基本的な考え方

今後の医療需要の増大・高度化を見据えた社会保障制度改革等の環境変化に適切に対応していくとともに、「広島県地域医療構想」の実現に向けて、医療機能の分化・連携等による地域完結型医療への取組強化や、地域包括ケアシステムの質の向上への貢献等、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の影響による厳しい医療環境の下でも、県立病院としての役割を果たしていくため、医療機能の強化や経営基盤の強化に取り組むとともに、新型コロナ患者の受入体制の整備に努める。

2 予算概要

（1）予算規模

○病院事業会計	319億円（対前年度比：+2.0%，+6.4億円）
広島病院	296億円（構成比：92.8%）
安芸津病院	23億円（構成比：7.2%）

※病院事業会計の総額は、企業会計（収益的支出、資本的支出）の合計

○一般会計	24億円（対前年度比：△6.3%，△1.6億円）
-------	--------------------------

（2）病院事業会計の収支見込

引き続き、医療機能の強化を図るとともに、感染症指定医療機関や地域の医療機関との協力の下、新型コロナ対応も実施し、経常収支の黒字を確保する。

○経常収支	13.7億円（対前年度比：+1,945.5%，+13.1億円）
-------	---------------------------------

3 主要事業

第6次広島県病院事業経営計画（H29～R3年度）〔期間延長〕に基づき、重点的取組を実施（詳細については、広島病院⇒P3，安芸津病院⇒P4）

○広島病院

- ①救急医療の強化
- ②がん医療を含めた高度医療の強化
- ③地域医療連携の強化

○安芸津病院

- ①災害対策の強化
- ②予防医療の推進
- ③地域との連携
- ④医療の質と患者満足度の向上

Ⅱ 令和3年度当初予算（案）総括表

（1）病院事業会計

（単位：千円，％）

区 分	令和2年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初予算額 ②	比 較		備 考	
			②-①	②/①		
病院事業収益 a	27,620,374	28,572,148	951,774	103.4		
内 訳	医業収益 b	25,479,518	23,084,919	△2,394,599	90.6	
	うち入院収益	17,684,976	15,764,655	△1,920,321	89.1	患者数の減
	うち外来収益	7,089,422	6,634,949	△454,473	93.6	患者数の減
	医業外収益 c	2,110,856	5,457,229	3,346,373	258.5	※病床確保補助金 3,526,338 含む
	特別利益 d	30,000	30,000	0	100.0	
病院事業費用 e	27,558,259	27,224,154	△334,105	98.8		
内 訳	医業費用 f	27,041,141	26,708,016	△333,125	98.8	給与費+82,804 材料費△449,110
	医業外費用 g	482,118	461,295	△20,823	95.7	企業債利息△50,386
	特別損失 h	35,000	54,843	19,843	156.7	
医業収支 (b-f)	△1,561,623	△3,623,097	△2,061,474	232.0		
経常収支 (b+c)-(f+g)	67,115	1,372,837	1,305,722	2,045.5		
収支差 (a-e)	62,115	1,347,994	1,285,879	2,170.2		
資 本 的 収 支	資本的収入 i	1,931,034	2,935,931	1,004,897	152.0	企業債+1,005,600
	資本的支出 j	3,722,596	4,694,401	971,805	126.1	
	うち建設改良費	1,098,496	2,099,841	1,001,345	191.2	資産購入費+965,779
	収支差 (i-j)	△1,791,562	△1,758,470	33,092	98.2	
支出予算額計 (e+j)	31,280,855	31,918,555	637,700	102.0	広 島: 29,604,570 安 芸 津: 2,313,985	

（2）一般会計

（単位：千円，％）

区 分	令和2年度 当初予算額 ①	令和3年度 当初予算額 ②	比 較		備 考
			②-①	②/①	
衛 生 費	2,599,872	2,435,150	△164,722	93.7	
病院事業会計への 繰出金	2,599,872	2,435,150	△164,722	93.7	

Ⅲ 令和3年度主要事業

① 広島病院の重点的取組

広島病院は、地域の医療機関との連携の下、患者や地域に選ばれる高度急性期機能の役割を強化していくとともに、公立病院が担うべき救急医療などの基幹的役割を引き続き発揮する。

1 救急医療の強化

➤ 救命救急センター等の効果的な活用

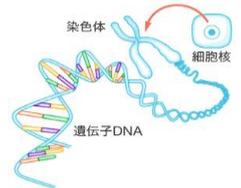
ドクターカーの運用や内科救急診療部の設置による救急患者受入れの迅速化・効率化を図るとともに、新型コロナウイルス対応の帰国者・接触者外来を設置し、救急外来等を中心に対応を実施



2 がん医療を含めた高度医療の強化

➤ がん遺伝子診断機能の強化

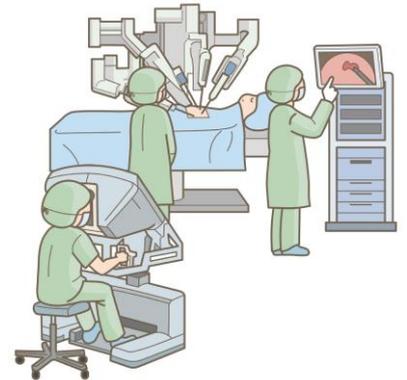
- ・乳がん、卵巣がんの遺伝的発症リスクの診断を開始（H30.4～）
- ・がんゲノム医療中核拠点病院（岡山大学病院）やがんゲノム医療拠点病院（広島大学病院）と連携して検査等を行う「がんゲノム医療連携病院」の指定（H30.3）を受け、がん遺伝子情報に関する検査を開始（H30.7～）
- ・保険適用となったがん遺伝子パネル検査を開始（R元.6～）



- ◆ 遺伝カウンセリング R元：44件，R2見込：196件，R3見込：200件
- ◆ 遺伝子検査 R元：77件，R2見込：110件，R3見込：120件

➤ 医療機器の更新，導入による高度医療の強化

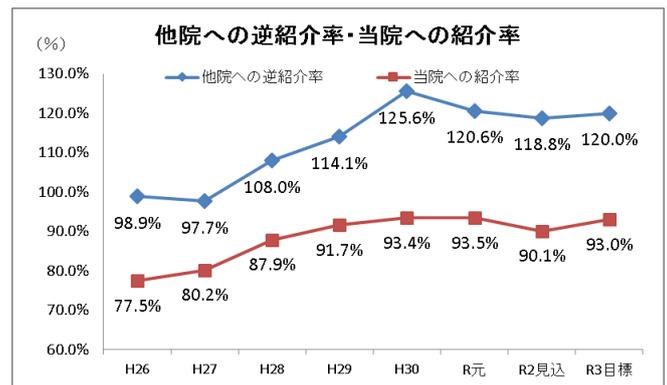
- ・手術支援ロボットの新規導入により，医療の質を向上
- ・リニアックの更新により，がん診療連携拠点病院として，放射線治療に係る診療機能を維持・強化



3 地域医療連携の強化

➤ 地域医療機関との連携強化

コロナ禍においても、高度な医療を必要とする患者に対してこれまでと同様に提供できるよう、かかりつけ医等との連携を引き続き強化



② 安芸津病院の重点的取組

安芸津病院は、高齢化や人口減少の進展により、医療需要の縮小が見込まれる安芸津地区における唯一の入院機能や、急性期から回復期、あるいはかかりつけまでの総合的な機能を有する強みを活かし、地域と一体となった予防医療を含めた地域包括ケアシステムの質の向上に積極的に貢献する。

注) 安芸津地区・・・安芸津病院の診療圏（旧安芸津町，旧安浦町，竹原市，大崎上島町）

1 災害対策の強化

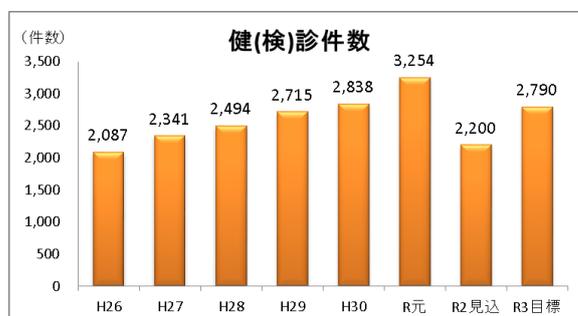
➤ 耐震化対応に向けた検討

人口推計や医療需要予測等を踏まえ、旧棟（S49～）の耐震化対応の具体化に係る構想を策定するなど対応を促進

2 予防医療の推進

➤ 健（検）診・人間ドックの受診促進

医療公開講座や地域イベント、地元企業や行政機関への訪問などを通じて、がん検診や人間ドックの受診を促進し、病気の早期発見・早期治療を推進



3 地域との連携

➤ 介護施設等との連携強化

- ・地域の介護施設等のケアマネジャーとの協議会（H28 設置）へケアマネジャーを有する町内の全介護施設が参加⇒ネットワークが完成（H30.6）
- ・認定看護師による他病院や介護施設等への感染症予防や認知症対策等の指導を実施し、地域の医療介護機能を向上

◆訪問看護実施数 R元：2,062 枠，R2 見込：2,010 枠，R3 見込：2,100 枠

➤ 在宅復帰に向けた支援

急性期治療後に、集中的なリハビリや安心して在宅復帰ができるよう、院内はもとより地域の保健・医療・福祉機関等と連携しながら退院支援を行う「地域包括ケア病床」を運用し、高い稼働率を維持

（H26.7～15 床，H26.11～21 床，H29.4～29 床（+8 床増床））

◆地域包括ケア病床稼働率 R元：89.9%，R2 見込：89.1%，R3 見込：98.0%

4 医療の質と患者満足度の向上

➤ 新たな外来の取組

整形外科の専門外来として、新たに開始した「骨粗鬆症外来」等を引き続き実施

◆専門外来受診患者数 R元：665 人，R2 見込：754 人，R3 見込：770 人

➤ 電話再診の拡充

コロナ禍においても患者の方々に安心して受診していただくため、電話による再診を拡充